



2020～21年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

Weekly Report Niigata



2020～21 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀松



国際ロータリー

2020～21 年度テーマ

ロータリーは機会の扉を開く

新潟 RC 3月第 5 例会 (2021.3.30)(Zoom・書面例会併催) No.3359

(1) ロータリーソング「手に手つないで」斉唱

(2) 高橋 秀松会長挨拶

昨日新潟でも桜の開花宣言がされました、コロナ過ではありませんが、春の陽射しの中で、なんとなく、年甲斐もなくウキウキする今日この頃です。

本日はオンラインでの例会の併設となっております。オンラインで参加されている皆さん、如何でしょうか。これからはこのようなスタイルの例会、開催される機会も多くなるかと思えます。オンラインでの参加の方は後ほどご意見を頂ければ幸いです。

会場入り口に、新潟ロータリーと関係の深いクラブのバナー掲示させて頂きました、スポンサーになったクラブ 姉妹友好クラブ 様々な理由で交流に至った経緯や当時のロータリアンの熱意に、思いをはせて頂ければと思います。

今週は、点鐘についてお話をします。例会の始まりに毎回(鐘を鳴らす)点鐘をしますが、これは帆船時代の決まり事からきているようです。英語では Ship's bell や Time bell と訳され、もともとは船上での時間を知らせる鐘だったようです。点鐘には 1 点鐘から 8 点鐘まであります。当時の、船乗りは、4 時間ごとに交代勤務で、30 分ごとに鐘を鳴らして時間を知らせていたようです。ロータリーに当てはめると例会が始まる 12 時 30 分に 1 打点鐘します、13 時に 2 回、13 時 30 分に 3 回点鐘となります。

4 時間後には 8 回鳴らすこととなり、これを「八点鐘」と呼んでいました。

当直者にとっては、当直(仕事)の終わりを知らせる嬉しい鐘の音となります。

私も 6 月の最後の例会の終了時には 8 回鐘を連打したい衝動にかられます。

今日本で、ロータリー以外の組織で点鐘を使用している団体は、JC 青年会議所 YMCA ソロプチミスト ライオンズクラブなどがあります。いずれもアメリカで発足した団体ですので、そ

こから来ているのではと、思っていましたがかではありません。

いずれにいたしましても、日本のロータリーは点鐘で始まり、点鐘で終わる、これは例会だけではなく、年次大会、地区協議会、IM 等すべての会合です。

外国では、点鐘の代わりに Call to order「お静かにお願いいたします」の、発言があつて例会が始まり、木槌で叩く事もあるようです。なんとなく始まったりもします。開会 閉会を鐘で告げるのは日本だけのようです。

この点鐘の習慣いつから始まったかわかりませんが、新潟 RC が発足した 1940 年にはスポンサーの東京 RC から鐘を寄贈されていますので、それ以前よりあったようです。そしてこの鐘が、その時寄贈された鐘です。裏側に皇紀 2600 年と、刻印されています。今は壊れて、音はしませんが、いつか 80 年前の点鐘の音を聞いてみたいものです。

日本人は、小学校の入学以来、鐘の音で行動することに慣らされています。私の卒業した小学校の校歌にも鐘の音という歌詞が残っています。案外 RC の点鐘も、けじめをつける意味で日本人の習性に合っているのかもしれない。

今日は点鐘についての話でした。



(3) 退会ご挨拶・バナー贈呈

- ・農林中央金庫 新潟県担当部長 津久井勝之君
- ・(株)新潟三越伊勢丹 代表取締役社長 星野圭二郎君
- ・(有)ウチヤマフォトスタジオ 内山 清君

(4) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)

- 小飯田 澄雄君 徳永 昭輝君
- 本多 晃君 高橋 秀松君

青少年育成基金寄付発表(樋熊 紀雄委員長)

- 津久井勝之君 本多 晃君
- 小飯田澄雄君 東方 幸雄君
- 武田 眞二君 高橋 秀松君

(5) ニコニコボックス紹介(小飯田 澄雄委員長)

- ・内山清君 30年間ありがとうございました。

(6) 会員スピーチ

「身近なICTから5Gへ ~新潟にもっとデジタルを~」
NTT東日本 新潟支店長 飯塚智君

(7) 3月30日 例会の参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
86	85	65	76.47

出席者：Zoom 例会参加者14名を含む

4月6日は第一例会につき卓話はございません。

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigata-rc.jp/>

April 24, 1940

President Sano having gone to Niigata to attend the Organization Meeting of the Rotary Club in that city, Director Odaira presided in his stead, and the meeting was promptly opened at the usual time of 12:30 P.M. with the singing of the National Anthem and "Rotary My Rotary" Chairman Odaira then said that our Sergeant-at-Arms Yamamoto, who attended the Organization Meeting of the Niigata Rotary Club, having returned, he would ask him to make a report on the Niigata Meeting. Yamamoto said 18 members of our club with 8 members of their families, started on the 22nd to attend the meeting in Niigata. There were two members from Kanazawa and one from Koriyama, making in all 29 visitors; and there are 29 charter members of that club, So it was a fine meeting with 58 people in all ! The formal meeting was opened at 11:00 by singing the National Anthem and paying homage to the soldiers who died in the battle field. After various business sessions they elected the officers. For President they elected **Ichiro Motoiima** and for ice-President **Bunkichi Ito**. Governor Morimura of the 70th District made a fine speech, and our President Sano spoke representing the sponsor club; then **Mr. Seiichiro Yasui** Governor of Niigata Prefecture, who was formerly a Rotarian in Keijo gave an inspiring address. The meeting was closed by singing a Rotary song.

Before the organizing meeting, the visitors were taken to visit Niigata harbour and to see that wonderfully extensive field covered with beautiful tulips in full bloom. Yamamoto was surprised to hear that all those beautiful flowers were not for sale in the market, but they are all cut down, and the bulbs are shipped abroad.

After the meeting they were taken to see the beautiful cherry trees on the banks of Kajikawa planted for more than ten miles on both sides of the river. The trees having grown large enough branches hang down to the surface of the water, and when walking along the river bank you seemed to be going through a tunnel of cherry blossoms. Here, Yamamoto was surprised, being the Sergeant-at-Arms, to see that the people never try to break the branches although they are within reach of their hands, while in Tokyo we often see people proudly carrying home cherry branches when they go to such places. In the evening they were entertained by the "human flowers" to their hearts' content ; and taking the train that night **Yamamoto** came back with **Horikoshi, Ikeda, Kashiwabara, Maruyama, Matsuo, Mataka, Nagase and Shiraishi** to attend our weekly meeting on the 24th.

(上記週報は小山楯夫情報委員長より提供頂きました。)

1940年4月24日 東京ロータリークラブ週報抜粋和訳

佐野会長が新潟市で開催されたロータリー設立の為の会合に出席され、東京クラブ例会は欠席されたので、大平理事が代理を務めました。定刻の12:30に国歌とロータリーソング“Rotary My Rotary”斉唱で始まりました。大平議長が新潟ロータリークラブ仮発会式に出席して帰られた山本 SAA に新潟での会合の様子をお話頂きたいとお願い致しました。

山本氏の御報告：18人の東京クラブ会員と8名のご家族は新潟での会合参加の為に4月22日に出発致しました。

金沢クラブより2名、郡山クラブより1名、合計29名のビジターがいらっしゃいました。新潟クラブのチャーターメンバーが29名いらっしゃったので合計58名の会合でした。公式な会合は11:00国歌斉唱と戦場で亡くなられた戦士の方々に敬意を表し祈りを捧げて始まりました。様々な職業の方々の中から役員を選ばれ、会長には本島一郎氏、副会長には伊藤文吉氏が選出されました。RI70地区、森村市左衛門ガバナーが素晴らしいスピーチをされ、佐野会長がスポンサークラブを代表して祝辞を述べられました。

その後かつて結城ロータリークラブ会員で新潟県知事をお勤めになっておられた安井誠一郎氏が感動的なご挨拶をされました。仮発会式の終わりにロータリーソングが歌われました。

発会式の前に、ビジターは新潟港に案内して頂き、美しく満開に咲き誇る広大なチューリップ畑を見学しました。驚いたことに、それら全てのチューリップが市場では販売されず、切り倒されて球根として船で海外へ出荷されると聞きました。

仮発会式の後、加治川の両岸に10マイル以上にも渡って植えられた美しい桜並木を見学させてもらいました。大きく成長した桜の枝は川面に接するほどに垂れ下がっていて、川岸を歩いていると桜のトンネルの中を抜けていくようでした。(中略)

山本氏、堀越氏、池田氏、柏原氏、丸山氏、松尾氏、又木氏、長瀬氏、白石氏は夕方、人々の華やかな賑わいを心ゆくまで楽しまれ、24日の我が東京クラブ例会に出席するために夜汽車に乗りました。